

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	放課後等デイサービスもりびた			
○保護者評価実施期間	2025年2月5日		～	2025年2月14日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	26名	(回答者数)	20名 (回収率 77%)
○従業者評価実施期間	2025年1月30日		～	2025年2月12日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7名	(回答者数)	7名
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 2月 26日			

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・定期的な面談や子育てに関する助言等の支援	・保護者との面談機会の定期的な設定や学校等の関係機関との連携を重視し、連携会議等を積極的に設けている	・送迎時や連絡など日頃の業務における保護者とのやりとりにて、具体的な支援提供や取組について説明するなど、さらに丁寧に行う ・定期通信等を活用し、保護者向けの情報提供の機会を増やす ・研修を通して職員のスキルアップを図り、より幅広く、包括的な支援を行えるよう目指す
2	・子どもが安心して活動に参加できている ・活動に適した空間設定になっている	・コラボレーションツールの積極的な導入により、活動現場における情報共有、確認体制がスムーズに行えている ・スタッフと子どもの信頼関係構築を基盤に、療育を行っており、子どもの安心感の形成に努めている ・野外環境の整備、工夫を行っている	・現在の工夫の継続、強化 ・スタッフの配置体制を強化する ・活動における安全点検のマニュアル化及び改良を行う
3	・事業所利用や支援計画等について丁寧な説明を行っている	・各説明機会や面談機会において十分な時間を確保している ・直接の面談機会やコミュニケーションを重視している	・定期通信や公式LINE等の連絡ツールを通じて、日常的な情報提供、相談体制をより強化していく ・また、必要に応じて保護者や関係機関への丁寧な周知、説明を行っていく

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・訓練や研修、安全計画についてなどの保護者への周知が徹底できていない	・定期的な必要訓練又は自主的な訓練の実施はあり、周知体制もあるが、積極的な周知には至っていないものがあつた	・定期通信に周知欄を設ける ・既存の連絡体制を活用し、関係者全体への周知を徹底する ・HPに掲載するなど、保護者がいつでも情報にアクセスできる形で周知を行う
2	・保護者同士の交流の機会、保護者向けの研修が少ない	・保護者や関係機関を含めた交流機会の設定はあるが、特段保護者向けプログラムの設定等は行っていない	・保護者向けの研修やプログラムの機会設定を検討する
3	・放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他の子どもと活動する機会が少ない(ない)	・児童施設等との連携体制や受入体制が構築できていない ・事業所の所在地から連携を図りやすい児童施設等が限られている	・地域の学校とはすでに職員間での交流があり、連携を深めていくことで、児童の交流等の体制構築を図っていきたい